

星流クラブが頂点に！

3月8日、生涯スポーツセンターで「第27回町長杯争奪バレーボール選手権リーグ」の決勝大会が行われました。

同リーグは、町民の健康と体力づくり、バレーボールの普及を目的に開催され、男女混合の11チームで予選リーグを行いました。

決勝大会には上位6チームが出場し、トーナメント方式で町長杯を競い合いました。

決勝戦は同リーグ1位の星流クラブとダンシャクが対戦し、白熱した試合展開のすえセットカウント20で星流クラブが優勝しました。



白熱した試合の展開となった決勝大会

歴史風土を肌で体験！

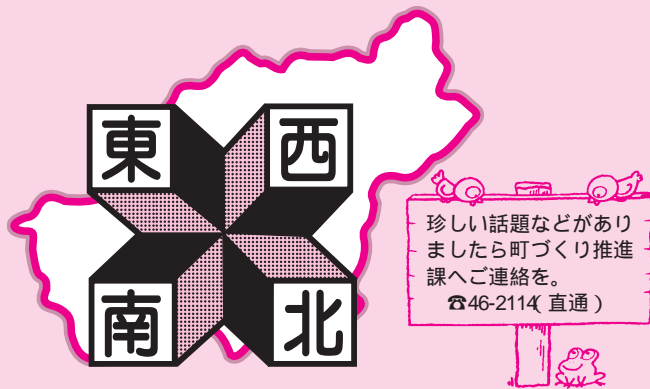
3月8日と9日の両日、岩手大学の学生12人が本町の歴史を学び、地域の方々と触れ合いました。

初日は、世田米地区内の神社を巡る歴史探検や泉田是重さん（世田米駅）宅で蔵の所蔵品の整理や清掃を行いました。

夜には、粕汁やバツケ味噌おにぎりなど郷土料理作り挑戦し、G・Tテグムの会（佐々木康行代表）の会員を交え賑やかに交流しました。



地域の人たちと賑やかに交流する学生



おしとやかに「桃の節句」



多田さんから茶道のお点前や基本的な作法を教わる園児

3月3日、世田米保育園（佐賀篤園長）で「ひなまつり会お茶会」が行われました。

この日は、玄関とホールの2ヶ所に豪華なひな壇が飾られ、ぶどう組の女の子16人が着物に着替え、ひなまつりのお祝いをしました。

多田弘子さん（本町）が、茶道のお点前や基本的な作法

について丁寧な指導すると、ぶどう組の女の子たちは覚えたいの作法で園児全員にお茶を運んだり、お菓子を振る舞っていました。

園児たちは、慣れない茶道の作法に緊張しながらも、初めてのお茶の味に「おいしい」と満足した顔をしていました。

テーピング技術を学ぶ

2月25日、農林会館で「テーピング講習会」が行われました。

この研修はテーピング技術を習得し、怪我の治療や予防に役立てようと町内のスポーツ愛好家たち17人が参加しました。

この日は、釜石シーウェイブスラグビーフットボールクラブの小久江竜一トレーナーを講師に、テーピングの目的や効果を学びました。

小久江トレーナーは、選手のケガを例に捻挫や打撲など負傷した場合の応急処置について話し、参加者は実際にテーピングの方法を学びました。



小久保トレーナーからテーピング技術を学ぶ参加者

交通死亡事故ゼロ3年間

2月27日、町長室で「交通死亡事故ゼロ3年間」をたたえる県警本部長の賞賛状が贈られました。

この賞賛状は、住民や行政、関係機関・団体による交通事故対策の取り組みと死亡事故抑止をたたえるもので、1月24日で交通死亡事故ゼロ3年間の達成した本町に大船渡警察署の川村裕司署長が訪問し賞賛状を多田町長に手渡しました。

川村署長は「今後も町民一体となった交通安全で記録継続を」と述べ、多田町長は「関係機関と一体となり交通安全対策を進めたい」と誓いました。



川村署長から賞賛状を渡される多田町長

種山で雪遊びを満喫！



冬の種山でソリ滑りを楽しむ園児たち

2月27日、種山森林公園で「森の保育園」が行われ、有住保育園（松田栄吉園長）の園児たちが冬の種山を満喫しました。

この森の保育園は、5歳児の園児たちを対象に宮沢賢治作品の舞台として知られる種山の四季を通し自然への関心を高め、季節の変化などを感じながら感受性を深めようと、季節ごとに年4回行われ、今年度は今年で最後になります。

園児たちは、住田高校のボランティアたちと、ソリ滑りや、雪合戦、雪像作りなどを楽しみました。

森の案内人の佐々木義郎代表から、手作りのがんじきをはかせてもらい、足を確かめながら一歩一歩、歩き、雪の冷たさも忘れ元気づけに、雪遊びを楽しみました。